

「人材ウィークリー」始まる

東洋ゴム CO2排出量削減へ 「新物流」をスタート

東洋ゴム工業は二十日、物流部門でのCO2排出量削減を目的に、トクセン工業(兵庫県小野市)、楠本運送(東大阪市)と新物流を開始することで合意したと発表。

現在、トクセン工業は小野市から東洋ゴム工業桑名工場に、タイヤの部材となる特殊鋼線を毎日納入しており、東洋ゴム工業は桑名工場から小野市に近い神戸市西区に新設した「トーヨータイヤ関西配送センター」に、毎日タイヤを配送する予定。

従来は、調達物流と製品物流が個別にトラックの配車を行っていたため、桑名工場に納入する車両は空で帰り、タイヤを積み車

化炭素と水素に転換した液体燃料のこと。

と南アフリカで商業稼働中で、欧米主要な新たなプロジェクト。また、愛知万博GTL燃料が供給さ

は、水素と酸素を化で得られた「電気」各自動車メーカーで電池車の普及見通し。二〇一〇年に五万台、二〇一〇年以降はとみて三〇年には一長期展望を示してい

燃料が実用化に向けているが、環境にやさコストで安定供給が登場を、不況に苦しち望んでいる。

は中野秀一が担当い

1万5000トン削減

両は空で工場に入ってくる現象が発生していた。今後、楠本運送の協力のもと、工場に入ってきた納入車両にそのままタイヤを積みこことで、トータルでの積載効率が向上。工場への出入り車両削減により、〇四年度物流部門でのCO2排出量の約二・三割削減が可能となる。

同社では国内事業所からのCO2排出量削減目標を、「中期経営計画〇五期間中に一万五千トンの削減」「一〇年末までに九〇年比二割削減」と定めている。

関西配送センター 神戸市西区に完成

東洋ゴム工業は二十日、関西以西の物流機能強化を目的に、神戸複合産業団地(神戸市西区)内に建設していた新タイヤ物流拠点「トーヨータイヤ関西配送センター」が完成したと発表。

敷地面積は約一万一千七百平方メートル、倉庫面積は延べ約六千八百平方メートル。山陽自動車道・神戸淡路鳴門自動車

道・阪神高速など高速道路とのアクセスに優れており、近畿地区、中国・四国地区を中心に約五十店の系列タイヤ販売会社や小売店に対して乗用車用、トラック・バス用、建設機械用タイヤの配送業務を行う。

配送業務は十月十一日から予定。